

2 地理歴史・公民

学校番号

208

令和3年度 公民科

教科	公民	科目	政治経済 (人文社会)	単位 数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「高校政治・経済」 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・授業は、国際経済、国際政治から始め、日本の政治、経済へと進む。
- ・日本史や世界史との関連を重視しながら、基本的に教科書を中心に据えた授業を行う。
- ・発問に対しては、自分が答えるものでなくても思考すること。
- ・理解、認識を深めるため、日々のニュースに触れるよう心がけること。

2 学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する事柄や、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	国際社会と日本(4月～6月)	1- 世界経済と日本 2- 現代の国際政治	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:世界と日本とのかかわりについて、自分にかかわりのあるものとして関心を持つことができる。 b:国際政治にかかわる諸問題について、様々な要因を総合的に考察し、あるべき行動を示すことができる。 c:経済指標などの統計資料を正しく読み取り、社会の分析ができる。 d:国際経済・国際政治の基本的な仕組みやその成立過程について知識を持つことができる。	定期考査 ワークシート
	現代の政治(6月～7月)	1- 民主政治の基本原則 2- 日本国憲法の基本的性格	○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○	a:政治に関する基本原理が民主社会にとって重要であるかを理解している。 b:人権にかかわる判例学習を通じて、対立する二つの考え方を理解し、自分自身の立場を明確にできる。 c:個々の出来事について、憲法などの法令を調べ、該当部分を示すことができる。 d:民主主義の成立過程における様々な政治理論や人権宣言などについての知識を持てている。	定期考査 ワークシート
2学期	現代の政治(8月～9月)	1- 日本の政治機構 2- 現代日本の政治	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:現代日本の政治についての制度的な課題について自分のこととして関心を持ち、有権者としての行動につなげようとしている。 b:投票率や選挙運動の問題などについて考え、自分の考えを適切に表現することができる。 c:投票率の推移や、一票の格差などの資料を正しく読み取れている。 d:三権の仕組みや選挙制度について正しい知識を持てている。	定期考査 ワークシート

2学期	現代の経済 (10月～12月)	1ー経済社会の変容 2ー現代経済のしくみ 3ー戦後の日本経済 4ー現代経済と福祉の向上	○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ 	a:昔の経済理論が現代の経済問題についても示唆を与えてくれることを理解し、日々の経済動向や経済問題に関心を持っているようになる。 b:経済成長率などの経済指標が何を意味しているのかを理解し、どのような経済社会であれば私たちの幸福を高めることができるかを考え、自分の考えを発表できる。 c:経済指標の表やグラフを正しく読み取ることができる。 d:経済思想家やその思想、歴史的事実や現代の制度についての正確な知識を持つことができる。	定期考査 ワークシート
3学期	現代社会の諸課題 (12月～1月)	1ー地球温暖化対策と経済成長 2ー消費者問題と消費者保護 3ー労使関係と労働市場 4ー少子高齢社会と社会保障	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ 	 ○	a:現在の社会問題について、SDGsと関連させて、自分にかかわることとして関心を持ち、社会で生きていく自覚ができている。 b:諸課題のそれぞれについて、資料をもとに、客観的な視点で考え、よりよい制度を考えることができる。 c:地球温暖化についての様々な資料を読み取ることや、労働関係の法律を適切に読み取ることができる。 d:労働法について、自分を守るための正しい知識を、社会保障についての負担と納付についての知識を正しく持てている。	定期考査 ワークシート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。